

# こんにちは

「アベノミクス」3本の矢で、国民は景気回復の実感はできません。政府の「投機とバブル」をあおる異常な経済政策は、新たな混乱をもたらしています。実態は5本の毒矢です。

## 実態は「5本の毒矢」

### ・第1の矢・無制限の金融緩和

日本銀行が今後2年間で、140兆円ものお金を金融機関に出します。国民に金を配るわけではありません。金融投機の市場にお金が吸い込まれていきます。

### ・第2の矢・危機招く財政出動

つまり、国の予算で、大型公共事業などをバンバンやって、ドンドン国の借金をふやすこと。そのツケは結局私たち国民に廻ってきます。

### ・第3の矢・規制緩和で大企業中心の成長戦略

非正規労働者だけでなく、正社員も自由に解雇、残業代は払わないなどの規制緩和。弱い立場の国民はどうなる？

### “隠し矢”第1・消費税を来年から引き上げることを今秋に決定

今は静かにして、参議選後に決める。「デフレ克服」とか「物価2%上昇」とか言っているのは、消費税の値上げを決めるため。今の値上げだけでは済まない大増税がやってくる。

### “隠し矢”第2・社会保障の大改悪

年金は10月から値下げ、医療や介護の自己負担や保険料も増えていく。これでは国民は暮らしていきません。

## 古賀誠元自民党幹事長も「憲法96条改憲に大反対」

安倍首相は、憲法を変えるための、ハードルを低くするため、96条の「各議院の3分の2の議員の賛成」を「過半数の賛成」に変えようと進めていますが、9条改憲論者の学者や、自民党の中からも反対の声が上がっています。

## 「憲法の平和主義は世界遺産」

元自民党幹事長の古賀誠さんが、赤旗日曜版に掲載されたインタビューは下記の通りです。

「現行憲法の平和主義、主権在民、基本的人権、という崇高な精神は尊重しなければならない。なかでも平和主義は『世界遺産』に匹敵すると私は講演でも話している。いま96条を変えて憲法改正手続きのハードルを下げるが出ていますが、私は認めることはできません。絶対にやるべきではない。」

古賀さんの父親はフィリピンで戦死しました。「戦争は嫌だ、二度と戦争を起こしてはならない…この思いが私の政治家としての原点です」「インタビューを受けたのも、戦争を知る世代の政治家の責任だと思ったからです。」

した。幼虫が、湿地に多いハンノキノキの木の若芽を食して育つ関係で、東戸塚地域には少なく、発生季には、学校から帰ると、急いでランドセルを置き、採集網を持って、1キロほど離れた雑木林に走って向かったものでした。雄の飛翔は早くて採集は困難ですが、雌は、不活発で、たいてい、葉上で休んでいるので、採集は容易です。

そのころ(1960年代初め)、年配の蝶愛好家から、「芹が谷」は湿地が多く、ハンノキだけの林があって、ミドリシジミが沢山居ると教えてもらいました。しかしながら、東戸塚から芹が谷迄は、小学生が歩いて往復するには余りにも遠く、結局、行きそびれてしまいました。その芹が谷のハンノキ林も、今では昔の面影は皆無です。H/T



ミドリシジミ 雌(メス)B



雄(オス)

翅の表面は、♂は金緑色、雌は血液型みたいに、茶褐色地に前翅に小さいオレンジ紋のA、前翅にやや大きい青紋のB、前翅にオレンジと青紋のAB、全面茶褐色の0と4型あり、雄が一番美しいのですが、雌の4タイプを揃えるのが楽しみでした。高い梢の間を飛ぶので、竹やぶで適当な長さの竹を探してうまく繋ぎ、勇んで出かけたもので

雨時の6月初めから中旬にかけて、ユナラやハンノキの多い雑木林で発生します。夕刻、雄がすばやく飛翔し、数頭が追いかけてあたり、くるくると旋回し、もつれ合つて飛ぶ様子は、見ていて飽きない空中サーカスです。

郷土の蝶 ⑨ ミドリシジミ

(Neozephyrus taxila)



## 再稼働を許さず 原発即時ゼロへ！

6・2原発ゼロ  
共同行動に6万人



「6・2NO NUKES DAY」の行動が、東京芝公園、明治公園、国会前の3つの会場で集会を行い、午後4時から国会大包围行動に合流、国会議事堂を包围しました。反原発連合のミサオさんは、「参議院選でこれ以上原発推進派の政党に議席を取らせません。原発ゼロを政府に言わせるために力を合わせましょう」と呼びかけました。

### 市民アンケートより

日本共産党横浜市議員団が、3～4月に全戸配布で行った、「市民(横浜市政)アンケート」は、5月14日までに429通の回答がありました。

新市庁舎整備構想に対する意見が多数寄せられ429通のうち、構想に賛成する意見が10通、異を唱える意見が64通です。また、中学校給食の実施を望む声が多数寄せられました。

#### 「新市庁舎建設よりも、もっと市民の ためになることに資金を活用して」

- 「新市庁舎建設計画の603億円に驚いています。耐震工事に50億円かけているのに、考えられないです」(70歳代女性)
- 「移転したら現在地域は多大の影響を受けて倒産する業者も出ます」(中区、80歳代男性)
- 「私は小田原市で育ったので、中学校給食があるのが当然だと思っていましたが、横浜市はないと知り、大変驚きました。…中学生は成長期でバランスのとれた食事をする必要があるのに、どうしても栄養の偏ってしまうお弁当を食べなければならないなんてかわいそうです。」(20歳代女性)

8月に市長選挙があります。「市民の市長をつくる会」では、柴田豊勝さんを市民の要求を実現してくれる市長候補として発表(5/2)しました。

## 7月参議院選挙の争点は

「自共対決」こそ 真の対決軸

安倍首相は、デフレ脱却の経済対策に必死ですが、危うさが表れています。

原発再稼働、憲法改悪、TPP、消費税増税、沖縄の米軍基地負担押し付けなど、どれも参議院選挙の重要な争点です。主権者の選択は迫られています。

「二大政党」とか、「第三極」といっても、離合集散する政党は、中身は古い自民党政治と同じです。

「財界いいなり」「アメリカいいなり」「歴史逆行」—自民党政治の3つのゆがみにメスを入れることこそ国民の皆さんがねがう方向に政治が変わります。

「自共対決」こそ参議員選挙の真の対決軸です。

過去も一貫して戦争に反対してきた日本共産党。日本共産党の躍進をめざし、比例は「日本共産党(小池晃)」、選挙区は「畑野君枝」が奮闘しています。

### 歴史散歩 ・ 平戸の歴史 平戸平和台②

前号で、「平和台」というのは地名ではないと書きましたが、知らない方が多かったのに驚きました。平戸町の字「大郷山下」と「蒔田野」が地名です。50年もたっているのに「平戸平和台」が地名と言ってもよいでしょう。かつては、鎌倉郡平戸村、明治22年(1889年)に鎌倉郡川上村大字平戸となり、昭和14年(1939年4月)横浜市に編入、戸塚区平戸町となりました。旧平戸町には「谷戸」が7つあり、平和台は、国道から「スナック古都」の前を入りまっすぐ行き、旧東海道までの道を「蒔田野谷戸」といい、国道からスーパー・ユータカラヤ前の道から旧東海道までを「谷宿(やじゅく)谷戸」と呼んでいました。

#### 蒔田野から平戸平和台に

昭和39年に人口が増えてきたため、蒔田野の町内会を「平戸平和台町内会」として立ち上げました。

昭和57年(1982年7月)に、表示変更により平戸町北東部が、「平戸1～5丁目」となりました。

現在、平戸1～3丁目までが「平戸平和台地区連合町内会」、平戸町と平戸4～5丁目(電電団地)が「平戸地区連合町内会」です。

小学校は、川上小学校(今の柏尾バス停近く)で、1年生だけは北部分校(今の東戸塚駅に近い坂下バス停付近・S43年廃止)に、山を2つ越えて通いました。(E)